



サクッと Movie 操作説明書

第 1 版

2006 年 9 月 23 日

株式会社アイ・ビー・イー

1.	はじめに.....	2
2.	サポートについて.....	2
3.	概要.....	2
3.1.	特徴.....	2
3.2.	動作環境.....	2
3.3.	ソフトウェア仕様.....	2
3.4.	制限事項.....	2
4.	試用期間について.....	3
5.	使ってみましょう.....	4
5.1.	素材ファイルを読み込む.....	4
5.2.	編集点を登録する.....	5
5.3.	カット編集する.....	6
5.4.	編集結果を確認する.....	7
6.	操作説明.....	8
6.1.	メニューバー.....	8
6.1.1.	ファイルメニュー.....	8
6.1.2.	編集メニュー.....	9
6.1.3.	表示メニュー.....	11
6.1.4.	再生メニュー.....	12
6.1.5.	ツールメニュー.....	12
6.1.6.	ヘルプメニュー.....	12
6.2.	ツールバー.....	13
6.2.1.	編集バー.....	13
6.2.2.	素材ファイル選択バー.....	13
6.3.	再生部.....	13
6.4.	カット操作部.....	15
6.5.	ステータスバー.....	16
6.6.	オプション設定.....	16
6.6.1.	全般タブ.....	16
6.6.2.	再生タブ.....	16
6.6.3.	編集タブ.....	16
6.6.4.	その他タブ.....	17
7.	Q&A.....	18
7.1.	編集素材ファイルに上書き保存できますか？.....	18
7.2.	再生が重いようなのですが何か原因はありますか？.....	18
7.3.	他のプレイヤーでは再生できるがサクッとMovieで正常に再生できない.....	19
7.4.	再生映像がコマ落ちしたりオーディオが音飛びする.....	19
7.5.	再生時にオーディオにノイズが入る.....	19
7.6.	オーディオが再生されない(無音).....	19
7.7.	タイムコード表示やシークバー、シャトルバーがはみ出している.....	19
7.8.	ファイルが開けない、再生ができない.....	21
7.9.	ファイル選択ダイアログがなかなか表示されない.....	21

1.はじめに

サクッと Movie は、簡単な操作で MPEG ファイルをフレーム精度で切り出し&結合可能な編集ツールです。本書はサクッと Movie の操作方法について説明したものです。

- ・ 事前に「[制限事項](#)」をお読みになってからお使い頂くようお願い致します。
- ・ 「[Q&A](#)」を参照のうえ、お問い合わせ頂くよう宜しくお願い致します。
- ・ 試用期間中はいくつかの制限があります。詳細は、「[試用期間について](#)」を参照して下さい。

2.サポートについて

サポートは電子メールのみの受付となります。電話での受付はしておりませんので予めご了承下さい。電子メールは、下記のメールアドレスに送信願います。

サポート用メールアドレス：cs@interactive-b.com

- ・ メール の件名に「サクッと Movie」と製品名を入れて頂くようお願い致します。
- ・ バージョンアップ通知は、弊社からユーザー方へ直接連絡することはございません。バージョンアップ通知は受けたい場合は、ベクターの「V アップ通知」サービスをご利用下さい。
- ・ ベクターでは製品に関する質問メールを受け付けておりませんので、ベクター宛てに製品に関する質問メールを送信するのはご遠慮願います。
- ・ 全てのメールに対して回答できない場合がありますが、必要に応じて適宜 WEB サイトを更新し、回答の代わりとさせて頂くことがあります。
- ・ 頂いたメールは必ず目を通しております。皆様から頂いた貴重なご意見は今後の製品開発の参考にさせていただきます。

3.概要

3.1.特徴

- (1) 簡単な操作で、フレーム単位で映像を切り出し&結合可能
- (2) MPEG-1、MPEG-2 フレーム精度の編集が可能(詳細は後述の「[仕様](#)」を参照のこと)
- (3) 複数ファイルにまたがって編集作業が可能
- (4) アスペクト比 16:9 にも対応
- (5) 多彩なトリックプレイ(逆再生、スロー再生、倍速再生、繰り返し再生、コマ送りなど)
- (6) オーディオスクラブ機能

3.2.動作環境

システム	Microsoft WindowsXP(日本語)
CPU	Intel Pentium4 2GHz、Pentium M 800MHz 相当以上を推奨
メモリ	512MB 以上
表示部	XGA 解像度(1024 x 768 ピクセル)、65536 色以上
その他	サウンド再生機能、DirectX8 以上

3.3.ソフトウェア仕様

再生・編集可能な MPEG ファイルは以下のとおりです。なお、MPEG 規格に準拠していないファイルは再生・編集の動作保証はできません。再生・編集時にエラーが発生したり、本ソフトウェアの動作が不安定になることがあります。

システム	MPEG-1 システム、MPEG-1 Video CD、MPEG-2 TS/PS
ビデオ	MPEG-1 ビデオ、MPEG-2 ビデオ(MP@ML、MP@LL、SP@ML)
オーディオ	MPEG-1 オーディオ(Layer Ⅰ、Layer Ⅱ)、MPEG-2 オーディオ(Layer Ⅰ、Layer Ⅱ) MPEG オーディオ Layer Ⅲ、AC3 には対応していません。
ビデオフレームレート	NTSC 29.97fps のみ対応
最大カット数	100 カット

3.4.制限事項

- (1) 複数のプログラムを含む MPEG-2 TS ファイルの場合、最初のビデオ/オーディオエレメンタリストリームのみ再生・編集対

象となります。

- (2) 編集する MPEG ファイルは、必ず同じ属性(ビデオ解像度、ビットレートなど)でなければなりません。違う属性を持った MPEG ファイルを編集することはできません。
- (3) 1カットのフレーム数が 15 フレーム以下のカット編集をした場合、処理中にエラーが発生する場合があります。フレーム数が極端に短いカットのファイル編集は、できない場合があります。
- (4) オーディオエレメンタリストリームの再生・編集はできません。
- (5) 逆方向への連続再生時は CPU の負荷が上がります。そのため、パソコンのスペック次第では、再生時に映像や音飛びや発生することがあります。
- (6) システムフォントの大きさは Windows 標準設定の「小さいフォント」にして下さい。「大きいフォント」でも動作しますが、タイムコード表示やシークバーなどの位置がずれてしまいます。

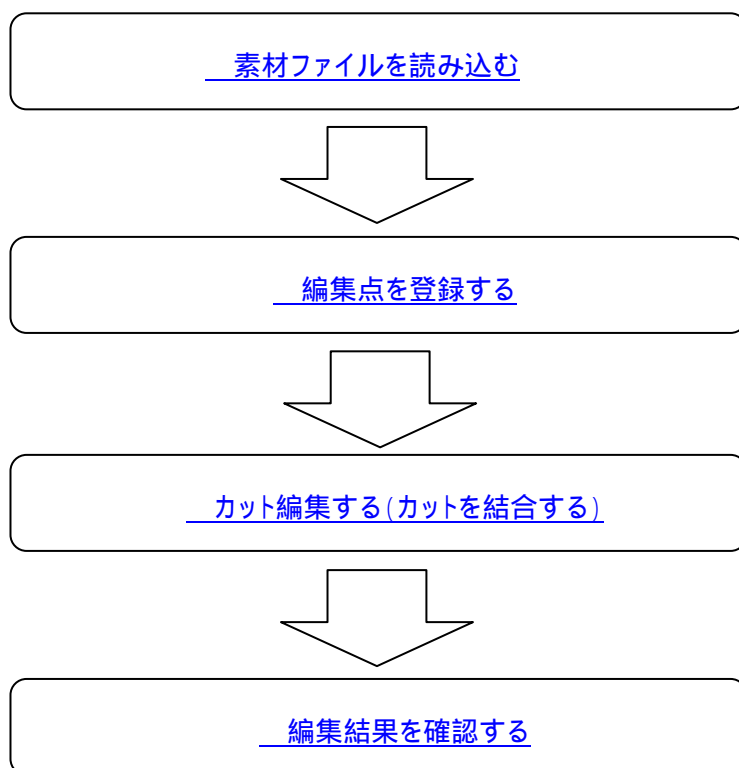
4.試用期間について

試用期間はインストール後、初回起動時から7日間です。試用期間中は以下の事項に制限があります。この制限を解除するには、ライセンスを購入し、シリアル番号を登録する必要があります。ライセンス購入の詳細については、「ライセンス購入と登録について」を参照して下さい。

- 登録可能なカットの長さは 60 秒以内となります。
- カットリストに登録可能な最大カット数は 2 個となります。
- ユーザーサポートを受けられません。


5.使ってみましょう

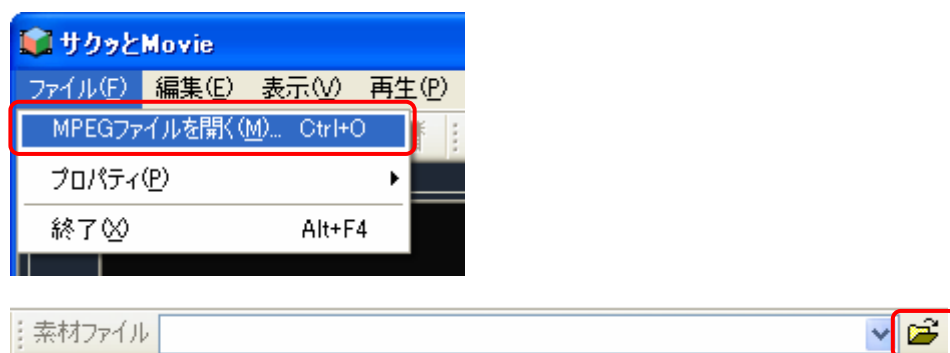
次章の「[操作説明](#)」を参照しながらサクッとMovieの基本的な使用方法を説明します。サクッとMovieの基本操作の流れは以下ようになります。



5.1. 素材ファイルを読み込む

編集素材となる MPEG ファイルを読み込みます。複数の素材ファイルを指定することが可能です。

(2) [ファイルメニュー](#)の「MPEGファイルを開く」、または[素材ファイル選択バー](#)の  ボタンを押します。



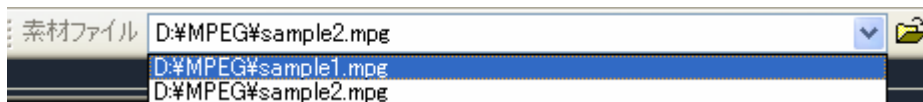
(3) ファイル選択ダイアログが開くので、ファイルを選択します。



- (4) [素材ファイル選択バー](#)のリストボックスに選択したファイル名が追加され、再生可能な状態となります。「再生」ボタンや「コマ送り」ボタンで再生することができます。



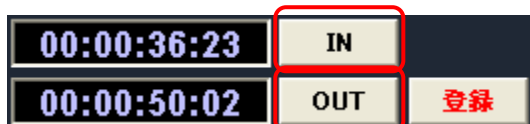
- (5) (1)～(2)を繰り返して複数の素材ファイルを読み込むことができます。複数の素材ファイルを読み込んだ時は、[素材ファイル選択バー](#)のリストボックスから再生したいファイルを選択します。



5.2. 編集点を登録する

素材ファイルを読み込んだら、編集点を指定して登録します。

- (1) [素材ファイル選択バー](#)でファイルを選択して再生可能な状態にします(素材ファイルが一つの場合は必要ありません)。
- (2) 「再生」ボタン、シークバー、「コマ送り」ボタンなどの操作で編集点を見つけ「IN」ボタン、「OUT」ボタンを押します。ボタンを押すと、その位置のタイムコードが表示されます。



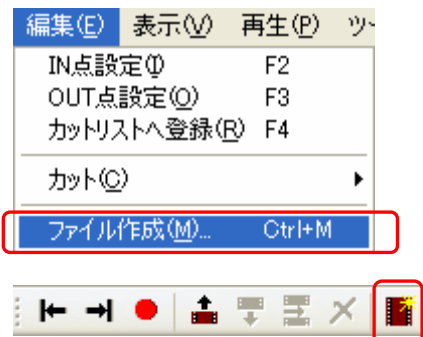
- (3) 「登録」ボタンを押すと、IN点、OUT点情報がカットリストに登録されます。カットリストにはIN点とOUT点のサムネイルとタイムコード、ファイル名、時間長(尺)が表示されます。必要に応じて(1)～(3)の操作を繰り返し、複数の編集点をカットリストに登録します。



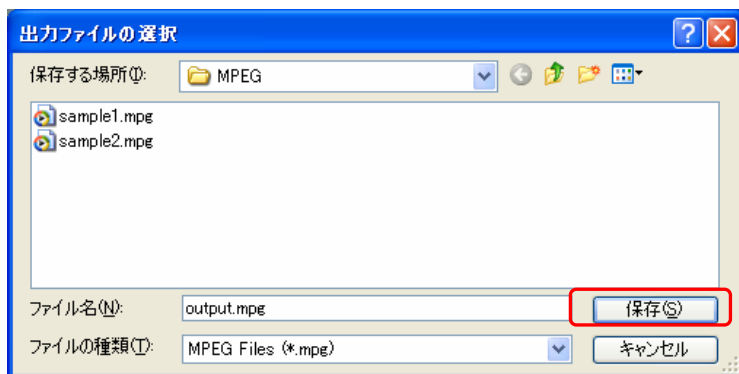
5.3.カット編集する

カットリストにある各カットを上から順に結合し、1つのファイルに出力します。

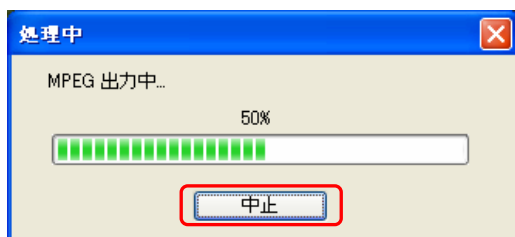
- (1) [編集メニュー](#)の「ファイル作成」を選択、または[編集バー](#)の「ファイル作成」ボタンを押します。



- (2) ファイル選択ダイアログが表示されるので、編集結果を出力するファイルを選択、またはファイル名を入力して「保存」ボタンを押します。



- (3) 以下のようなダイアログが表示されカット編集処理を開始します。中止する場合は「中止」ボタンを押して下さい。



- (4) 上記ダイアログの進捗が 100%に達するとダイアログは消去され、カット編集処理は終了です。

5.4. 編集結果を確認する

外部のプレイヤーを使って編集結果を再生して確認します。

- (1) [再生メニュー](#)の「編集出力ファイルの再生」を選択します。

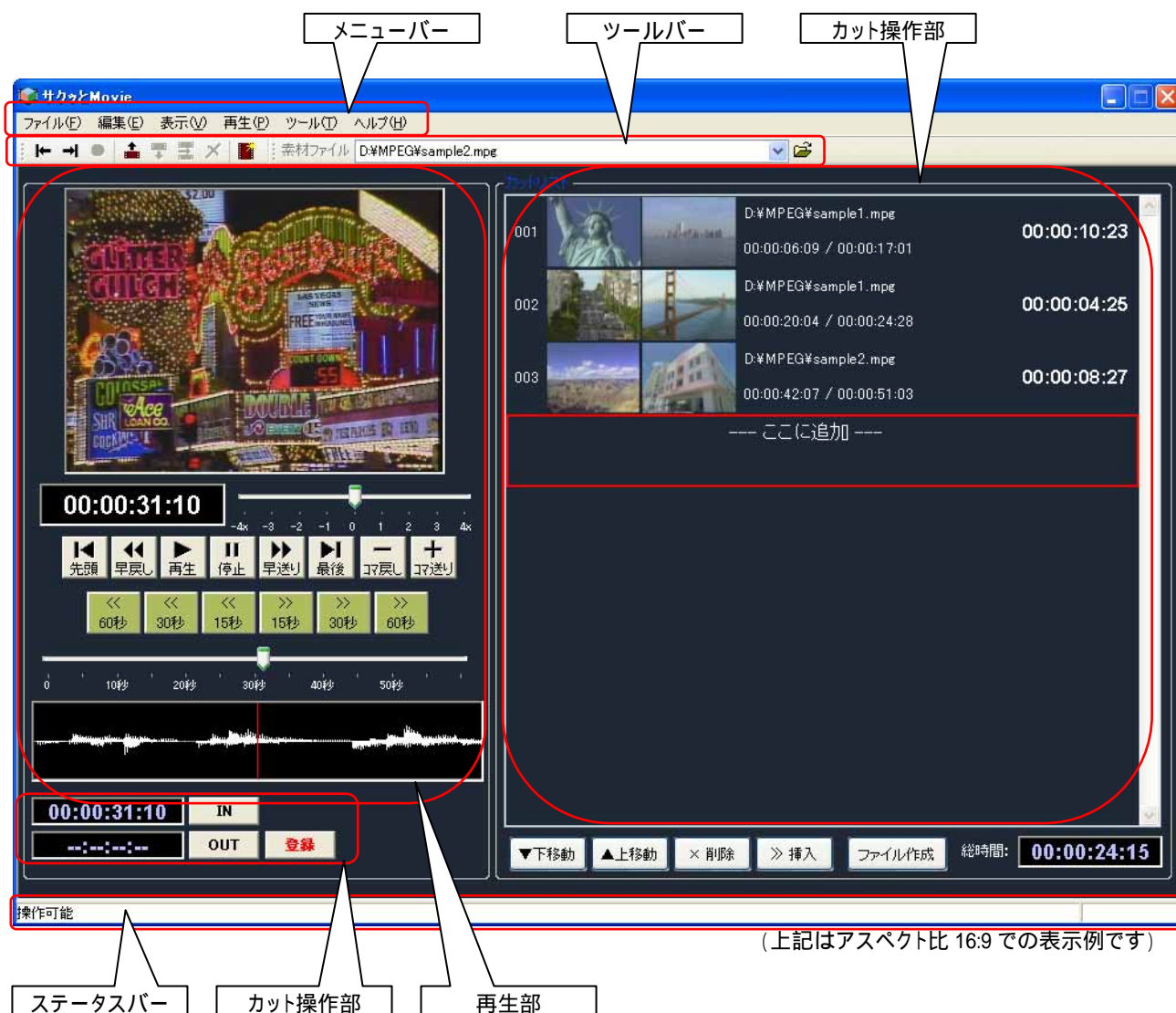
再生(P)	ツール(T)	ヘルプ(H)
再生(P)		Shift+Ctrl+Y
停止(S)		Shift+Ctrl+P
早送り(F)		Shift+Ctrl+F
早戻し(R)		Shift+Ctrl+R
コマ送り		Shift+Ctrl+→
コマ戻し		Shift+Ctrl+←
先頭へ移動(I)		Ctrl+T
最後へ移動(E)		Ctrl+E
編集出力ファイルの再生 Ctrl+P		

- (2) 外部プレイヤーで編集出力したファイルが再生されます。

外部プレイヤーは「[オプション設定](#)」の「[その他タブ](#)」で設定します。この設定がない場合は、ファイル拡張子に関連付けられたソフトウェアで再生されます。

6. 操作説明

サクッと Movie のウィンドウ構成は、メニューバー、ツールバー、再生部、カット操作部、ステータスバーに大別されます。



6.1. メニューバー

6.1.1. ファイルメニュー

- **MPEGファイルを開く**
編集素材となるMPEGファイルを開きます。開いたMPEGファイルは[素材ファイル選択バー](#)のリストボックスに追加されます。

- **プロパティ**

サブメニュー項目名	説 明
現在の素材ファイル	素材ファイル選択バーで選択した MPEG ファイルの属性を表示します。
編集出力ファイル	編集メニュー の「ファイル作成」で編集出力したファイルの属性を表示します。

- **終了**
再生を停止してサクッと Movie を終了します。

6.1.2.編集メニュー

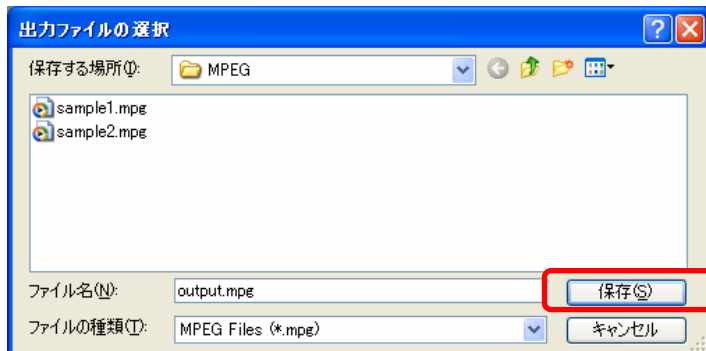
- **IN 点設定**
現在のビデオフレームを IN 点として設定します。IN ボタンと同じ動作をします。
- **OUT 点設定**
現在のビデオフレームを OUT 点として設定します。OUT ボタンと同じ動作をします。
- **カットリストへ登録**
IN 点と OUT 点を指定したカットをカットリストへ登録します。登録ボタンと同じ動作をします。
- **カット**

サブメニュー項目名	説 明
上へ移動	カットリストで選択したカットを一つ上へ移動します。上移動ボタンと同じ動作をします。
下へ移動	カットリストで選択したカットを一つ下へ移動します。下移動ボタンと同じ動作をします。
挿入	カットリストで選択したカットの上に、「ここに追加」という項目を移動します。挿入ボタンと同じ動作をします。
削除	カットリストで選択したカットを削除します。

● ファイル作成

カットリストにある各カットを上から順に結合して1つの MPEG ファイルとして出力します。以下に示す手順でカットの編集を行います。なお、カットリストにカットが1つしかない場合は、そのカットを別ファイルに切り出すことになります。

- (1) ファイル選択ダイアログが表示されるので、ここで出力先の MPEG ファイルを選択またはファイル名を入力して「保存」ボタンを押します。

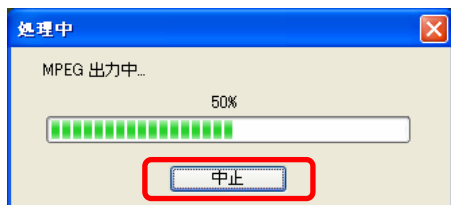


既にあるファイルを出力先 MPEG ファイルとして選択した場合、上書き保存していいかを聞いてくるので「はい」または「いいえ」ボタンを押して下さい。「はい」ボタンを押すとファイル作成処理を続行しますが、「いいえ」ボタンを押すとファイル選択ダイアログを表示したままになるので、存在しないファイル名を入力して「保存」ボタンを押すか、「キャンセル」ボタンを押して処理を中断して下さい。

【注意】

例えば、sample1.mpg と sample2.mpg ファイルのカットを編集して出力先を sample1.mpg (または sample2.mpg) にした場合、正しいファイル出力ができません。出力先ファイルは、必ず編集素材ファイル以外のファイルを指定して下さい。

- (2) 処理中は以下のような進捗状況を示すダイアログを表示します。ここで「中止」ボタンを押すと処理を中止しファイルを出しません。



【注意】

ビデオ解像度やビットレートなど性質の異なるファイルのカットを処理しようとした場合、処理中に以下のような「～の性質が一致していません」というエラーダイアログが表示されます。性質の異なる MPEG ファイルの処理はできませんのでご注意下さい。



- (3) 処理が完了すると進捗状況を示すダイアログが自動的に閉じます。

6.1.3.表示メニュー

- **オーバーレイ表示**

映像をオーバーレイ表示します。オーバーレイ表示をすることにより、CPU になるべく負荷をかけずに高速に映像を表示することができます。ただし、お使いのパソコン環境によってはオーバーレイ表示ができないことがあります。その時は映像が表示されませんので、チェックマークをはずして下さい。

- **オーディオ波形表示**

オーディオ波形表示の ON/OFF を切り替えます。デフォルトの設定ではオーディオ波形が表示されます。オーディオ波形処理は CPU、及びハードディスクドライブに対し、ある程度負荷がかかりますので、必要がない時は表示を OFF にすることで動作を軽くすることが可能です。

- **ツールバー**

各ツールバーの表示/非表示を切り替えます。

サブメニュー項目名	説 明
編集バー	編集バーの表示/非表示を切り替えます。

- **ステータスバー**

ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。

6.1.4.再生メニュー

- **再生**
再生を開始します。
- **停止**
再生を停止します。
- **早送り**
順方向に2倍速の早送り再生を開始します。
- **早戻し**
逆方向に2倍速の再生を開始します。
- **コマ送り**
順方向に1フレーム移動します。
- **コマ戻し**
逆方向に1フレーム移動します。
- **先頭へ移動**
ファイルの先頭に移動します。
- **終端へ移動**
ファイルの最後に移動します。
- **編集出力ファイルの再生**
[編集メニュー](#)の「ファイル作成」で出力したファイルを、外部のMPEGプレイヤーを起動して再生します。再生対象となるファイルは最後に作成したファイルです。どのプレイヤーを起動するかは、後述の「[オプション設定](#)」で指定します。

6.1.5.ツールメニュー

- **オプション**
オプション設定ダイアログを表示します。詳細は後述の「[オプション設定](#)」を参照して下さい。

6.1.6.ヘルプメニュー

- **ライセンス登録**
ライセンス登録ダイアログを開きます。ライセンス購入と登録方法については「ライセンス購入と登録について」を参照して下さい。
- **バージョン情報**
本ソフトウェアのバージョン情報ダイアログを開きます。

6.2. ツールバー

6.2.1. 編集バー



左から順に編集メニューの「IN点設定」、「OUT点設定」、「カットリストへ登録」、カットのサブメニュー項目の「上へ移動」、「下へ移動」、「挿入」、「削除」、「ファイル作成」と同じ動作をします。

6.2.2. 素材ファイル選択バー



左のボタンはファイルメニューの「MPEGファイルを開く」と同じ動作をします。このボタンを押すとMPEGファイル選択ダイアログを表示します。選択したファイルはリストボックスに追加され、そのファイルを開きます。素材ファイルが複数ある場合は、リストボックスがファイルを選択して切り替えることができます。ここで選択したファイルがプレイヤーでの再生対象となります。

6.3. 再生部



● 動画表示領域

読み込んだファイルの映像を表示する領域です。16:9のアスペクト比を持つMPEGファイルを読み込んだ時は、自動的に16:9で表示します。この領域でマウス左ボタンをダブルクリックすることにより、再生と停止を繰り返します。

● シャトルバー

バーのつまみを左右に移動することにより-4倍速～+4倍速までの再生が可能です。つまみを離すと自動的に中央に戻ります。

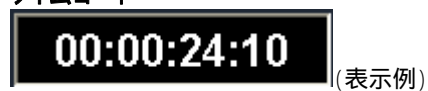
● シークバー

バーのつまみを左右に移動することにより任意のフレームに移動します。

- **秒スキップ**

ボタンに表示している秒数だけスキップしたビデオフレームに移動します。

- **タイムコード**



名 称	上記表示例	説 明
タイムコード	00:00:24:10	現在のタイムコードを表示します。表示形式は、HH:MM:SS:FF です。FF はビデオフレーム番号で、表示範囲は 00 ~ 29 です。

再生するファイルに関わらず、先頭のタイムコードは 00:00:00:00 で表示します。

- **音声波形表示**

再生位置を中心とした音声の波形を表示します。再生位置を遠くにジャンプした時など、波形が表示されるまで少し待たされることがあります。

6.4.カット操作部

00:00:36:23	IN	
00:00:50:02	OUT	登録

IN,OUT点設定部

カットリスト

カット番号	静止画	ファイル名	長さ
001	[Statue of Liberty]	D:\MPEG\sample1.mpg	00:00:10:23
002	[Golden Gate Bridge]	D:\MPEG\sample1.mpg	00:00:04:25
003	[Building]	D:\MPEG\sample2.mpg	00:00:08:27
--- ここに追加 ---			

カット操作ボタン: ▼下移動, ▲上移動, × 削除, >> 挿入, ファイル作成

総時間: 00:00:24:15

● IN ボタン

IN ボタンを押すと現在のビデオフレームが IN 点として設定され、ボタン左にタイムコードを表示します。タイムコード表示領域をダブルクリックすると、再生位置がその位置に移動します。

● OUT ボタン

OUT ボタンを押すと現在のビデオフレームが OUT 点として設定され、ボタン左にタイムコードを表示します。タイムコード表示領域をダブルクリックすると、再生位置がその位置に移動します。

● 登録ボタン

登録ボタンを押すと、設定した IN,OUT 点をカットリストに登録・追加します。追加する位置はカットリストにある「ここに追加」という位置です。なお、カットを選択して登録ボタンを押すと、選択したカットが登録ボタンを押した時の IN,OUT 点で更新されます。

● カット

登録ボタンを押した時の IN 点と OUT 点とその静止画、カットの長さ、ファイル名などが表示されます。一番右に表示されるタイムコードがカットの長さを表しています。各カットをダブルクリックすると、そのカットが再生部に反映されます。なお、カットリストに追加可能なカット数は最大 100 カットです。

- **カットの追加位置**

登録ボタンをクリックした時のカットは、「ここに追加」とある部分に追加されます。この位置を変えるには後述の「カット操作ボタン」を参照して下さい。

- **カット操作ボタン**

ボタン名	説 明
下移動	選択したカットの位置を下に移動します。
上移動	選択したカットの位置を上移動します。
削除	選択したカットを削除します。
挿入	選択したカットの一つ上に「ここに追加」を移動します。カットの追加位置を変更する時に使用します。
ファイル作成	カットリストに追加された全てのカットを結合し、1つのファイルに出力します。

- **カットの長さ(総時間)**

カットリストにある各カットの総時間をタイムコード形式で表示します。

総時間: **00:00:24:15**

6.5.ステータスバー

選択したメニュー項目の説明など必要な情報を適宜表示します。

6.6.オプション設定

6.6.1.全般タブ

- **カットを削除する時は確認する**

カットリストからカットを削除する時に確認ダイアログを表示するかを指定します。

- **アプリケーションを終了する時は確認する**

サクッと Movie を終了する時に確認ダイアログを表示するかを指定します。

6.6.2.再生タブ

- **逆再生時にオーディオを出力する**

逆方向へ再生する時にオーディオを出力するかを指定します。なお、逆再生時にオーディオ出力する場合は、CPU に負荷がかかるためスムーズな再生ができない場合があります。

6.6.3.編集タブ

- **15 フレーム以下のカットの編集を許可する**

チェックマークをはずすと、1カットのフレーム数が 15 フレーム以下のカットは、カットリストに登録できません。よって、15 フレーム以下のカットの編集はできません。チェックマークを付けると、カットリストに登録できますが、編集処理中にエラーが発生し、編集できないことがありますので、予めご了承ください。

6.6.4.その他タブ

- **オプション外部プレイヤー(フルパス)**

[再生メニュー](#)の「編集出力ファイルの再生」で、再生に使用するプレイヤーの実行ファイルを指定します。何も設定がない場合は、ファイル拡張子に関連付けられたプレイヤーで再生されます。

- **スキップボタン設定**

秒スキップボタンでスキップする秒数を設定します。

7.Q&A

最新の Q&A は以下の URL でご覧になれます。合わせてご確認くださいよう、宜しくお願い致します。

<http://www.mpeg.co.jp/products/sakmovie/>

7.1.編集素材ファイルに上書き保存できますか？

● 内容

例えば、編集素材ファイルが sample.mpg の場合、編集結果として同じファイル sample.mpg に出力できますか？

● 回答

編集素材ファイルが1つであっても複数であっても、その編集結果を出力するファイルは、編集素材ファイルであってはなりません。そうでない場合、カット編集処理の動作は保証できません。

7.2.再生が重いようなのですが何か原因はありますか？

● 内容

- (1) シークバーで再生位置を移動したが、再生がすぐに開始しない。
- (2) ファイルを開いたが再生がスムーズでない。

● 回答

以下の点をご確認下さい。

- (1) パソコンの動作推奨スペックは満たしていますか？
- (2) 再生対象となるファイルがネットワーク越しのファイルの場合(ローカルディスクにないファイルの場合)、ネットワークの混雑状況によりスムーズに再生できない場合があります。
- (3) ビデオのビットレートが高くないですか？
ビットレートが 8Mbps 以上の場合、パソコンのスペックによりスムーズに再生できない場合があります。
- (4) 再生対象となるファイルが保存されているディスクに、他のソフトウェアがアクセスしていませんか？
他のソフトウェアが頻繁にアクセスしている場合、スムーズに再生できない場合があります。
- (5) オーディオ波形表示を OFF(非表示)にしてみてください。
オーディオ波形表示を OFF にすると、再生処理の負荷が軽減されます。
- (6) ハードディスクに負荷が発生している場合、
- (7) 再生対象となる MPEG ファイルが壊れている可能性があります。
再生するファイルが MPEG 規格に違反したファイルの場合、予期せぬ動作をする場合があります。

7.3.他のプレイヤーでは再生できるがサクッと Movie で正常に再生できない

- 内容

Windows Media Player など、他のプレイヤーでは再生ができるが、サクッと Movie では正常に再生できない。

- 回答

本ソフトウェアは仕様として MPEG 規格違反の含んだファイルは正常に再生できません。また、再生ができたとしても編集処理が正常に終了しない場合があります。Windows Media Player で再生が可能でも、そのファイルが MPEG 規格に準拠したファイルである保証はありません。

- 備考

市販のエンコーダには、MPEG 規格に準拠したファイルを出力しないものがあります。それらのファイルは Windows Media Playerなどで再生可能なケースもありますが、規格に準拠していないため、将来的に再生できる保証のないファイルであるといえます。

7.4.再生映像がコマ落ちしたりオーディオが音飛びする

- 内容

再生映像がスムーズに再生されない、オーディオが音飛びするなどの現象

- 回答

パソコンの処理能力が低いことが考えられます。それ以下でも動作しますが映像や音声がスムーズに再生されない場合があります。

- 備考

タスクマネージャーのパフォーマンスタブで CPU の使用率を確認できます。使用率が 100%を超えているようなら映像がコマ落ちしたり、オーディオが音飛びしたりします。

7.5.再生時にオーディオにノイズが入る

- 内容

オーディオに時々ノイズが入る、常におかしな音が聞こえるなどの現象

- 回答

オーディオ出力デバイスが正しく動作していない可能性があります。Windows Media Playerなどで MPEG ファイルや WAVE ファイル再生してみて、同じような現象であれば、サウンドカード、またはドライバソフトウェアに問題がないかチェックして、オーディオ出力デバイスが正常に動作しているか確認して下さい。

7.6.オーディオが再生されない（無音）

- 内容

オーディオを含んだ MPEG ファイルであるにもかかわらずオーディオが再生されない。

- 回答

オーディオ出力デバイスが正しく動作していない可能性があります。Windows Media Playerなどで MPEG ファイルや WAVE ファイル再生してみて、同じような現象であれば、サウンドカード、またはドライバソフトウェアに問題がないかチェックして、オーディオ出力デバイスが正常に動作しているか確認して下さい。

7.7.タイムコード表示やシークバー、シャトルバーがはみ出している

- 内容

タイムコード表示やシークバー、シャトルバーがサクッと Movie からはみ出し、表示が乱れている。

- 回答

現バージョンは、Windows 標準のフォントの大きさ「小さいフォント」を標準としています。よって、「大きなフォント」の場合、表示が乱れます。「小さいフォント」に設定してご使用ください。フォントの大きさの設定は「画面のプロパティ」で設定します。

詳しくは Windows のヘルプなどを参照して下さい。

7.8. ファイルが開けない、再生ができない

- 内容

- (1) ファイルは開けるが再生ができない。
- (2) 途中で再生が停止する。
- (3) 特定の範囲だけ再生ができない。
- (4) 映像の再生が停止するがオーディオは再生される。または、その逆の現象。

- 回答

ファイルを開いた時や再生途中で何らかのエラーメッセージを表示した場合は、その MPEG ファイルが規格違反の可能性がありま。サクッと Movie は MPEG 規格に違反したファイルでの動作保証はできません。

- 備考

MPEG 規格に違反したファイルを再生した場合、結果としてどのような現象が起きるかはファイルにより様々で、一概に特定することができません。上記に示した内容以外の現象が起きる可能性がありますので、予めご了承下さい。

7.9. ファイル選択ダイアログがなかなか表示されない

- 内容

ファイルメニューの「カットリストファイルを開く」を選択した時など、ファイル選択ダイアログが表示されるまで時間がかかる。

- 回答

ファイル選択ダイアログから一度ファイルを選択すると、最後に選択したファイルのフォルダを記憶し、それ以降はそのフォルダを自動的に選択します。よって、ネットワーク越しのフォルダを選択した場合は、ネットワーク状況によりファイル選択ダイアログが表示されるまで、時間がかかることがあります。

更新履歴

版数	更新日	更新内容
1 版	2006/09/23	新規作成